

発達障害連続セミナー第2回 LD,ADHD とは？

5月19日(土)13:30~17:00(1時間ほど延長) 大会議室にて

講師 志村浩二先生(子ども総合支援室室長)岡保健士 佐藤保育士

参加者 74名 託児あり 11名利用(かめのこに依頼)

* 託児は延長したためボランティアの方に迷惑をかけてしまいました

* 次回からは、終了予定時間になりましたら、託児の方は子どもさんを迎えに行くよう支持を出します。

今回も参加者の内訳は、保護者以外に教職・保育士・介助員・一般の方など多岐に渡りました。

ホワイトボードいっぱいの説明を絵を使って描かれ、例を出しながらの話だったので、とてもわかりやすかったです。広汎性発達障害とも重なることがずいぶんあるのだとわかり、この障がいの方たちにわかりやすくすることは、周りの人たちにとってもわかりやすくなることも良くわかりました。



15:20まではLD・ADHDの説明。10分休憩しこの間に質問を会場の方から出していただき、終了予定時間は16:00でしたが17:00まで皆さんの質問に丁寧に答えていただきました。志村先生ありがとうございました。今後もアンケートをもとに形を変えてセミナーを続けていこうと思います。

アンケート集計 [42枚]

[感想]

よかったところ

- ・ 前日も出席させて頂きました。例えて、説明して頂けるので大変わかりやすい説明でした。
- ・ 具体的でADHDとLDの内容が良く分かりました。また志村先生のお話を聞きたいです。
- ・ わかりやすかったです。自閉症もADHD・学習障害もあわせもっているんだな~と思いました。
- ・ 初めて学習会に参加しましたが、具体的な内容でわかりやすいと思いました。子どもの状態を見て、脳レベルの問題なのか、親子関係、しつけ、体験不足の問題なのかのみきわめはどのようにしたらできるのか、と思いました。
- ・ 具体的に例をあげてご説明していただいたこと。最後の特意なところをみつけてほめてあげることの大切さを(人格に影響を与え、苦手な部分も克服できたりする)実感しま

した。

- いろいろ口で（言葉）で説明するだけでなく、実演していただく事でより理解できる事がたくさんありました。
- ひとつひとつ詳しく説明して下さり勉強になりました。
- ADHD について、わかったつもりでいても、ばくぜんとしているところがあって、そういうところが、具体的にわかって良かったです。
- 志村先生のお話、とても良かったです。参加型なので、ずっと集中して聞かせていただきました（講演会等に参加させていただくとよく眠くなるのですが、今回はしっかり聞きました）。具体的な内容でよくわかりました。IQ=記憶（能力？）の桶ということがすごくわかりやすく、腑に落ちたという感じです。
- ADHD の子に対しての関わり方がわかり、とても良かったです。健常児もそうですが、良い所を伸ばす事の大切さがわかりました。
- 初めて参加いたしました。わかりやすくよかったです。
- 得意なところにアプローチすると脳全体に広がるというお話がためになりました。
- 事例を出して頂いた所。
- 障害に対してどのように接していけばよいか具体的にわかってよかった。
- 志村先生のおはなし、わかりやすかったです。ねむくなることもなく、1つ1つのたとえがうんうんとうなづける点がOKです。
- 志村先生は具体的でわかりやすかったです。特にアンバランスの話がわかりやすく勉強になりました。
- 視覚のアンバランスの話を聞いて、当たっている事が多くてとっても参考になりました。もっとじっくり聞いて勉強したい。
- 講師の先生のお話が分かりやすかった。
- ADHD を視覚のアンバランスから説明されたところ。（今まで神経伝達物質の話が多かったので）
- Q & Aに先生が目を通してくださったこと。体験的で判りやすい。志村先生のお話がテンポよく、いつもたのしくきけました。
- 他の親御さんも一緒に事を思ってるんだなぁと思う所もあり、自分だけじゃないんだ！と心強く思えた。先生も全部の質問に答えてくれ良かった。
- 前回に引き続き、今回も具体的な子どもの様子から、それに対し、どのような対処をしたらいいのか、ということ詳しく教えて頂き、とても分かりやすかったです。
- 分かりやすく内容を説明してもらえたところ。
- 実例を挙げていつも話して頂けるので、とてもわかりやすいです。言葉だけでわからない部分もよくわかります。
- 具体的に発達障害についての説明は初心者の私にとってはよく理解できました。子供の良い面をさがして伸ばせる様に努力したいです。

- ・ 具体的な例をあげての説明だったので、理解しやすかった。
- ・ 何回聞いても具体的でうなづけるお話ばかりでした。
- ・ 志村先生のお話は「なるほどな！」と思いつくことがたくさんありました。
- ・ ご本人の体験や経験。
- ・ どの様な行動をする子供がこの病気なのか良くわかった。
- ・ 具体的な話して、子どもへの接し方が勉強になりました。
- ・ 得意なところをみつけ、その部分にアプローチしてあげると、弱い面、得意でない部分まで補うことができるというお話が一番残りました。
- ・ 難しい内容も分かりやすかった。専門用語をならべて寝むくなるだけのセミナーしか行ったことしかなかったので聞きやすかったです。
- ・ わかりやすく説明していただき、仕事に実践できるお話で、発達障害の子どもへの見方が変わりました。
- ・ 前回の講演よりも自分の子どもの動きがわかるのがよかった。
- ・ 例の出し方が面白く、興味を持って話を聞くことができました。
- ・ 具体的な事例を挙げていただいているので、身近にいる軽度のLDの子どもさんに当てはまることばかりで、大変勉強になりました。うまく声かけをしてあげようと痛感しました。
- ・ 志村先生の話は、日常的なことを入れながら話され、分かりやすかったので参加してよかったなあと思います。
- ・ 例をあげて話をして頂けるのでわかりやすい。
- ・ 先生のお話はとても良く解り、すべての話が心に残りました。
- ・ とても解りやすかったです。たまに親が切れたりするのはスパイスになるお話はとても安心しました。

●もう少し工夫してほしいところ

- ・ 時間を短縮してほしいです。回数が増えても良いのですが。
- ・ 子どもを預けているので、時間は気になりますが、もう少しお話聞きたかったです。
- ・ 一番後ろの席でしたので、ホワイトボードが少し見えにくかったです。
- ・ 体験的なので、ポイントを自分で整理するのがむずかしかった。レジュメが判りにくい。でもないときさみしい。
- ・ 言葉の意味は理解できたけど、子供の例をもっと聞きたかったです。
- ・ このADHDを親と子供で共有するだけでなく、回りを取りまく環境・集団にどの様に認知され、共有していくか具体的に説明がほしかった。

- ・ 発達障害についてまだ理解しにくいところがあるので事例をたくさんあげて話を進めてほしい。
質疑応答のときに自分の聞きたかった事が出てくるので時間を十分に取ってほしい。

[今後聞きたい話など]

- ・ 広汎性発達障害のお子様を持つ方で、小学校に就学されている親御さんのお話を聞きたいです。発達の遅れがある息子に対してこれからどう対応していけばよいか、実際のお話を聞きたいです。就学中のお子様に限らず、成人された方を持つ方のお話を聞きたいです。LD や ADHD のお子様を持つ方の、体験談（年齢とわず）聞きたいです。（どうして発見されたか、対応方法、とか、努力とか）
- ・ 判定、断定しようとは思いませんが、保育園児の生活の中で、心配な子、ボーダーライン上、気になる子への様子・働きかけの事例など。
- ・ 志村浩二さんの話（もっと聞きたいです）。
- ・ 成人された方（中学生以上）を持つ親御さんの話。未就学児～現在までの子供さんの状態の変化などを聞きたいです。
- ・ 児童精神科のDr。
- ・ 高機能自閉症をもつお母さん（小～中学生くらい）のおはなし。
- ・ もう一度志村先生のお話がききたいです。私は教師をしているので、教師向けの話も聞いてみたいです。亀山市に住んでいますが、仕事は亀山市ではありませんので、教師向けのお知らせも広報などで教えてもらいたいです。
- ・ 小学校に行ってる子をもつ発達障害の親の方にどうしたらいいか話をききたい。
- ・ 年齢が上がってきた子どもに対して困らないための生活上の工夫など（中学生・高校生以上の）。〔例〕時間の把握が難しい子ども（用意にどれ位かかるかなど）が自分で生活をコントロールするやり方など。
- ・ 発達障害の子が、イジメにあったら、あわないためにみたなテーマ。兄弟（障害のない）へのフォロー。
- ・ 中学生以上の障害をもつ子供を持つ親同志で質問会をしたり、専門の先生へのQ & Aの場が（少人数で）あればと思います。
- ・ 実際に発達障害の子供を育てられた（中学生～成人、を育てている）親御さんの話。田中康夫先生（昨年・一昨年と話を聞き、とても分かりやすく、保護者としても力を頂きました）。
- ・ 子どもを学校へ預けている親として、障害児学級の先生の話をお聞きできたら…と。先生方も現場で十分教育などしてもらってますが、もっと距離をちぢめられるような場はとりにくいと感じています。先生も一人の人間として苦悩していると思いますが、その辺りも本根でお聞きできたら…と感じています。

- ・ 学習障害について。数々の例のたとえがききたいです。対応出来にくい子どもの対処の仕方など。
- ・ 一般高校の中でのお話。どこまでできれば、普通高校に入れるか。(知的障害(軽度)がある場合)やはり勉強ができないのでは、一般高校は無理?
- ・ よくばりですが、年少さんから、小学生→中学生→高校入学→作業所、小学校→養護学校。年齢によって変化などが異なると思うので。①年少さんの場合、障害の受容について。②小・中・高の場合、学校での様子。進学について。③就職について。
- ・ ADHD または LD だった人で成人した人の実体験(育てた親子さんや本人)。苦労した事や、克服できたきっかけなどを聞いてみたい。
- ・ 先生方の参加も多かったが、学校での取り組みやクラスの様子、関わり方等、いろんな年齢の先生方の意見が聞きたかったです。
- ・ 発達障害の特徴を明確に区分する必要はないと思うのですがLDだけに絞ったお話を聞く機会がほしいです。また、中学校進学にあたり、小学校高学年の会も希望します。
- ・ いろいろの世代の親御さんの意見を聞きたいと思います。
- ・ 私は中学生の子の親です。同じ頃の親御さんと話し合える(先生とも)情報交換の出来る場があれば・・・と思います。
- ・ 多動に入るのかどうか、広汎性になるのか(家庭環境に要因があるのか?)ぎりぎりの子(小1~小2)について勉強したいです。
- ・ 自閉症の特に男の子(5~6年)青少年期の性行動についても勉強したいです。

[その他]

- ・ 志村先生の話は何回も聞かせてもらい、聞くたびに、日々の自分を振り返ることができ、エネルギーになります。ありがとうございます。大変お忙しいお身体です。お身体、十分気をつけて下さい。
- ・ 2回ともきかせていただきました。こんないい機会をつくっていただきありがたく思っています。また次回も参加できるといいな!って思っています。よろしくお願いします。
- ・ 志村先生に5・6年前に教え子(障害児学級)をみてもらいました。その時の誠実な対応に感動したことは今でも覚えています。もっと早く相談にできればよかったと後悔した程です。亀山市に来てくださってありがたいです。(鈴鹿市にとっては……)
- ・ 学びたい人がいて、それに適確に答えてくれる人がいて、さらに回数が重ねられていく。とてもうまくいっているように見うけられます。“亀山方式”と言われてますが、それをささえているのはこうした人達なんだなぁと思いました。私の地域では……どうかな。
- ・ 得意なところ、不得意、不器用なところ、人はそれらをもっている中で、生きている。誰でもそう。そういう人それぞれの面を尊重し合いわかり合える社会になればいいなぁ~とあらためて思った。“みんな違ってみんないい”。